

福井豪雨映像アーカイブス

福井大学大学院工学研究科 正会員 福原 輝幸

1. はじめに

今から5年前の平成16年7月に福井豪雨が発生した。7月18日未明からの雨は、1時間に80ミリ以上を記録するなど、足羽川流域を中心に観測史上まれにみる集中豪雨となった。

足羽川上流の旧美山町、池田町では、土石流などによる被害が多く発生した。さらに、足羽川が流れる福井市中心部では堤防が決壊し、市街地が大規模に浸水した。被害は、死者・行方不明者5名、重軽傷者19名、床上・床下を含めた浸水戸数約14,000世帯、さらに、JR越美北線の5橋梁が流失するなど福井県内において史上最大となった。

2. 福井豪雨アーカイブス作成委員会の発足

河川の災害復旧工事が進行し、被害の爪跡が消えて行く中で、住民の福井豪雨に対する記憶の風化が懸念された。そんな中、筆者を含めた数名は災害後の調査で被災者が洪水の様子をビデオや写真に撮っていたことを思い出した。実際にそのビデオを見ると、今までの報道で紹介された福井豪雨の映像よりも生々しく、迫力のある映像が次々に目に飛び込んで来た。これが契機となり、住民により撮影された記録映像を埋もれさせることなく、後世への財産として保存し、研究および学校や住民への防災教育・啓発などに活用できるような福井豪雨の映像を作り上げるようになった(図-1 参照)。

そこで「福井豪雨映像アーカイブス」を作成するための委員会が、図-2に示すように、福井大学、国土交通省近畿地方整備局の福井県内の3事務所、福井県、関係市町の官学一体となったメンバーで平成19年11月22日に設立された。

3. 映像、画像収集と特徴

福井豪雨の映像・画像収集は、新聞記事による募集、福井市の広報誌による募集、国土交通省の福井県内における事務所のホームページなどを活用して行われた(図-3を参照)。

福井豪雨から間もなく4年が経過し、河川の災害復旧が進捗(平成20年度完了予定)

一般住民の福井豪雨の経験や記憶が風化し、水害に備える意識の薄れることへの危機感

福井豪雨の貴重な記録の散逸、埋没を防止し、学術的な研究、学校や住民への防災教育・啓発などに有効に活用

「福井豪雨映像アーカイブス」を作成

図-1 福井豪雨映像アーカイブスの作成経緯

福井大学	
国土交通省 近畿地方整備局	福井河川国道事務所(事務局)
	九頭竜ダム統合管理事務所
	足羽川ダム工事事務所
福井県	
福井市、越前市、大野市、 鯖江市、池田町、越前町	

図-2 福井豪雨アーカイブス作成委員会構成



図-3 福井豪雨の映像・画像の収集

キーワード：福井豪雨，映像アーカイブス

連絡先：〒910-8507 福井市文京 3-9-1 福井大学工学部建築建設工学科環境熱・水理研究室

従来、提供された映像、画像については、作成者に著作権が発生するが、提供されたデータについては、不特定多数を対象に貸し出すことになること、また、学術的な研究や防災教育・啓発など広く社会に向けてデータを活用することから、版權を明確にすることにした。結果、提供を依頼する際に無償での版權譲渡と委員会に版權が帰属する旨、さらに、委員会解散後の版權については福井大学に帰属する条件で募集を行った。約2ヶ月の募集期間で、映像媒体数は50本(内民間19本、8人)、収録時間にすると約40時間、写真などの静止画像は約50,000枚(内民間4,000枚、40人)が、それぞれ提供された(写真-1 参照)。

収集した映像の特徴は以下の通りである。(1)現場に近い所からの撮影、(2)洪水の初期段階からの撮影、(3)撮影の目線が洪水の水面に近い。こうした特徴が洪水の脅威と流れの迫力を引き出していると考えられる。写真-2は代表的な映像の例である。

4. 映像の編集と内容

収集した映像は、①足羽川編、②嶺北編、③学術編、④ダイジェスト編の4つに分類し、DVDにまとめ上げた(写真-3 参照)。①足羽川編は、主に広域水害として上流から下流まで起きた洪水、それに伴う被害の様子をまとめた。②嶺北編は、局所的な洪水に関わる現象が含まれており、土石流、流木、洗掘などが代表的なものである。③学術編では、堤防越流、洗掘、流速、漂流物と橋の相互作用、橋の上下流で起こる水位変化など、洪水の流体力学に関する資料として取りまとめた。④ダイジェスト編は、①～③をまとめたものであり、最後に福井豪雨アーカイブスから学んだことが要約されている。

5. おわりに

約2ヶ月という短期間の募集にも拘わらず、多くの画像・映像が集まり、「福井豪雨アーカイブス」に対する住民の関心の高さ、および多くの方が洪水や災害の様子を記録していたことがよく分かった。作成した公開データ(映像など)は学術的研究や防災教育・啓発などに長期に渡り継続的に活用されてこそ、その効果が発揮されるものである。従って、今後は公開データの活用の実態を調査する予定である。

最後に、「福井豪雨映像アーカイブス」に映像・画像を提供して頂いた方々、および作成委員会メンバーの方々に感謝の意を表します。



写真-1 収集した映像・画像の媒体



写真-2 代表的な映像



写真-3 福井豪雨アーカイブスのDVD